

令和5年度
学校評価報告書
(自己点検)

学校運営評価
重点取組み課題評価(学生)



令和6年3月
一般社団法人 山梨県歯科医師会立
山梨県歯科衛生専門学校

学校運営評価

自己点検による学校運営評価報告書

- ◆対象教職員数：13名 ◆回答者数：10名 ◆回答率：76.9（7.7P↓）
- ◆評価方法：[十分に達成している] + [おおむね達成している]の合計が、85%以上をA、70%以上をB、69%以下をCとする。
評価：A 評価：B 評価：C

◆ 昨年の評価との比較

○右の表の通り、評価は上がっている。

・昨年C→A ↑：5項目

「シラバスの有効利用や学習意欲を高める評価方法の工夫などにより、学生の自ら学ぶ意欲や態度の育成が図られたか。」

「読み書き計算力・自己学習力などの職業人としての基礎・基本的な資質の育成が図られているか。」

「職業意識・勤労観・責任感・向上心・探究心などの職業人意識力の育成が図られているか。」

「職業人としての必要な資質や基本的なマナーを身につけさせるキャリア教育が体系化されて推進されているか。」

「学生の希望にそった就職先への就職率の向上が図られているか。」

・昨年B→A ↑：8項目

教育課程・教育活動：2 学生指導：3 学生支援：1 専任教員力の向上：1

・昨年A→B ↓：2項目 広報：2

「ホームページ・学生掲示板等は適時に更新し見やすくしているか。費用対効果に見合った適切な広報活動が行われ、学校の情報が十分発信されているか」

・昨年C→C：1項目

「学生自らが主体的に問題を発見し、解を見いだしていく能動的な学習への対応（アクティブラーニング）がなされているか。」

評価の推移

昨年	A	B	C
学年末	52	10	6
A	50	8	5
B	4	2	0
C	0	0	1

*今年度は、「地域連携」「国際交流」についての評価項目をもどし、例年のとおり過年度との比較をした学校運営評価ができた。（参照：今年度も「コロナ禍」の項目を継続）今年度は、上記の通り評価は大幅に上がっている。新型コロナウイルス感染症が第5類扱いとなり、感染予防対策を徹底する中でも3年前に戻りつつある学校生活に再び活気が戻ったようだ。国際交流については、関係者の協力により5月にDMACCからの来日で、発表会等が開催できた。新歓スポレク、歯びいフェスタ、教養講演会と予定通り実施でき、学生間の交流、講義・実習以外の活動経験等から学ぶものは多かったと思う。社会に貢献する歯科衛生士の育成のため、感染予防対策が日常生活の一部となった講義・実習、学校行事、国試対策等を行う際の指導・運営方法はさらに工夫の余地がある。また、生徒数減における募集関係の広報活動、教育目標の実現に向けての協力体制の維持に、ICT化をさらに進め人材の確保に努力する必要もある。

I 教育目標・教育理念

	学年末評価	【割合】	昨年評価
1 教育計画 教育理念・教育目標・育成人材像等に基づく、具体的な教育計画が立てられているか。	評価：A	【100%】	A
2 教育理念等の理解・周知 教育理念・教育目標・育成人材像等について、教職員が理解し、講師・学生・保護者に周知されているか。	評価：A	【100%】	A
3 教育理念等の方向づけ 教育理念・教育目標・育成人材像等は、学習者や歯科医療界のニーズに向けて方向づけられているか。	評価：A	【100%】	A
4 教育理念等と全教育活動との関連性 全ての教育活動が、教育理念・教育目標・育成人材等の達成に向けられて実施されているか。	評価：A	【100%】	A

II 学校経営

1 学校経営ビジョンの明確化と共通理解 中長期および単年度ビジョンを明確化し、それへの全教職員の共通理解が得られているか。	評価：A	【100%】	A
2 学校経営ビジョンの評価と活用 目標やビジョンに対する評価を年度内に実施し、その結果を次年度の目標や改善策につなげているか。	評価：A	【100%】	A
3 学校ブランド力強化の独自性 学校ブランド力の強化のために、学生力の向上・専任教員力の向上・施設、設備の拡充など、独自のカラーを出しているか。	評価：A	【90%】	B
4 経営組織や意志決定機能の明確化と有効性 経営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていたり、規則等が有効に機能しているか。	評価：B	【70%】	B
5 業務の効率化 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	評価：A	【90%】	A
6 運営委員会の有効性 運営委員会が、学校経営に関する議論や方向づけの場として、有効に機能しているか。	評価：A	【100%】	A
7 教務会の有効性 教務会が、学年経営や授業、特別教育活動実施の場として、有効に機能しているか。	評価：A	【100%】	A

III 教育課程・教育活動

1 教育課程の教育理念等との一貫性と国家試験への対応 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているとともに、国家試験への対応が図られているか。	評価：A	【100%】	A
2 教育課程や教育方法の工夫・開発 実践的な職業教育やキャリア教育の視点に立った教育課程や教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	評価：A	【100%】	A

	学年末評価	【割合】	昨年評価
3 専任教員や講師の適正配置 教育理念や教育目標の達成に向けての相応しい専任教員や講師を適正配置しているか。	評価：A	【100%】	A
4 運営委員・専任教員・講師の役割の明確化と協働体制 運営委員と専任教員・講師の役割を明確化するとともに、三者の協働体制は整っているか。	評価：A	【100%】	A
5 シラバスの有効性 シラバスは、授業内容と一致しており、学生が理解しやすく、計画的な自主学習をしやすいものとなっているか。	評価：A	【100%】	A
6 基礎的・基本的知識と技能の確実な定着 授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善され、基礎的・基本的知識と技能の確実な定着が図られたか。	評価：A	【90%】	A
◎ 7 学生の能動的な学習への対応 学生自らが主体的に問題を発見し、解を見いだしていく能動的な学習への対応（アクティブラーニング）がなされているか。	評価：C	【67%】	C
8 課題解決に必要な思考力等を身につけるための指導の創意・工夫 基礎的・基本的知識と技能を活用し、課題解決に必要な思考力・判断力・推察力等を身につけるための指導の創意・工夫がなされたか。	評価：A	【100%】	B
9 自ら学ぶ意欲や態度の育成 シラバスの有効利用や学習意欲を高める評価方法の工夫などにより、学生の自ら学ぶ意欲や態度の育成が図られたか。	評価：A	【100%】	C
10 実習目標に沿った施設・学習環境・指導体制 実習目標に沿った施設・学習環境・指導体制が整っているか。	評価：A	【100%】	B
11 インシデント等の把握・分析と改善策 実習において、学生が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善策を講じているか。	評価：A	【100%】	A
12 実習講師と専任教員との協働体制 実習講師と専任教員の役割を明確にしているとともに、双方の協働体制を整えているか。	評価：A	【100%】	A
13 実習実施要領の作成と有効性 確実な基礎的・基本的技能を身につけるための実習実施要領が作成され、それが十分に機能しているか。	評価：A	【100%】	A
14 実習サポート 実習において、学習支援を必要とする学生に対するサポートは十分にできているか。	評価：A	【90%】	A
IV 学生指導			
1 基本的生活習慣等の確立化 基本的生活習慣（挨拶・言葉遣い・環境美化・服装・欠席・遅刻など）の確立のための継続的な取り組みが行われているか。	評価：A	【100%】	B
2 職業人としての基礎・基本的な資質の育成 読み書き計算力・自己学習力などの職業人としての基礎・基本的な資質の育成が図られているか。	評価：A	【100%】	C

学年末評価 【割合】 昨年評価

3	職業人意識力の育成 職業意識・勤労観・責任感・向上心・探究心などの職業人意識力の育成が図られているか。	評価：A	【90%】	C
4	人間関係形成力の育成 コミュニケーション力・共生共感力・自己表現力・自己管理能力などの人間関係形成力の育成が図られているか。	評価：A	【100%】	B
5	キャリア・プランニング力の育成 情報収集力・情報探索力・計画実行力・課題解決力などのキャリア・プランニング力の育成が図られているか。	評価：A	【100%】	B
6	キャリア教育の体系化 職業人としての必要な資質や基本的なマナーを身につけさせるキャリア教育が体系化されて推進されているか。	評価：A	【100%】	C

V 学生支援

1	学校行事や課外活動の実施 学校生活を有意義なものにするための学校行事や課外活動が適切に実施されているか。	評価：B	【80%】	B
2	健康管理 定期検診や疾病予防教育、健康相談（医師・カウンセラー）、保険への加入など、学生の健康管理に努めているか。	評価：A	【100%】	A
3	就職斡旋 前年度の卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか。	評価：A	【100%】	B
4	学費サポート 奨学金や教育ローン、学費の分納・減免、その他生活に関する相談に対応しているか。	評価：A	【100%】	A
5	遠距離通学者サポート 遠距離通学者の通学および居住環境の整備・充実がなされているか。	評価：A	【100%】	A
6	保護者等との連携 保護者や関係機関などとの適切な連携・協力をしているか。	評価：A	【100%】	A

VI 学修成果

1	脱落防止対策 中途退学者や留年者を少なくする工夫・努力をしているか。	評価：A	【100%】	A
2	成績不振者対策 国家試験合格率100%を目指し、成績不振者への早期対応等や各種対策を講じているか。	評価：A	【100%】	A
3	就職指導対策 学生の希望にそった就職先への就職率の向上が図られているか。	評価：A	【100%】	C

VII 専任教員力の向上

学年末評価 【割合】 昨年評価

1 規律ある指導体制の確立

学生への個々の人格の尊重や一貫指導等による規律ある指導体制の確立がなされているか。

評価：A 【100%】 A

2 自己研鑽と修養

教科・学生理解・指導技術等の識見や高い人格の向上のための不断の自己研鑽と修養がなされているか。

評価：A 【100%】 A

3 研修会への参加と成果の活用、共有化

各種研修会への積極的参加と研修実績の活用、研修内容の共有化がなされているか。

評価：A 【100%】 A

4 校内研修体制の確立

学校の抱えている課題等を踏まえた、年間計画に基づく、校内研修体制の確立がなされているか。

評価：A 【100%】 A

5 授業改善

授業の自己点検、授業研究、互見授業などが実施されているか。

評価：A 【100%】 B

6 教職員相互の組織体制の確立

報告・連絡・相談の遂行の徹底など、教職員相互の組織体制の確立がなされているか。

評価：A 【100%】 A

VIII 管理運営

1 危機管理・リスク管理体制の確立

危機管理・リスク管理体制が明確にされ、マニュアル・緊急用備品などが整備されているか。

評価：A 【100%】 A

2 防災体制の確立

防災に対する体制（消火器・消火栓・耐震・電気点検など）が整備され、定期的に避難防災訓練が実施されているか。

評価：A 【100%】 A

3 教職員の健康管理

労働関係法令に基づき、就業規則等が整備されており、教職員の健康管理が適切に行われているか。

評価：A 【100%】 A

4 個人情報の保護

学生・講師・教職員の個人情報の保護やパソコン上の学生情報等の管理徹底が図られているか。

評価：A 【90%】 A

5 安全・安心体制の確立

防犯カメラや立て看板・ドアの施錠等による校内への不審者侵入対策が行われているか。

評価：A 【100%】 A

6 経費節減対策

水道代、光熱費、消耗品代等の経費節減に努めているか。

評価：A 【100%】 A

7 人件費の節減対策
時代の流れに見合った出張旅費や業務形態の改善等による残業代などの人件費の節減に努めているか。 学年末評価 【割合】 昨年評価
評価：A 【100%】 A

IX 財務

1 財務基盤
中長期的に学校の財務基盤は、安定しているといえるか。 評価：A 【90%】 A

2 会計監査
財務について、会計監査が適正に行われているか。 評価：A 【100%】 A

3 適正な予算の執行・管理
年間事業計画に基づき、予算・収支計画を策定し、適正な予算の執行・管理を行っているか。 評価：A 【100%】 A

X 施設・設備

1 施設・設備の整備
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 評価：A 【100%】 A

2 多目的スペースの設置
学生のために、休息・親睦および交流等を行うためのスペースが設けられているか。 評価：A 【90%】 A

3 安全点検の実施
全職員による校舎内外の定期的な安全点検を実施し、施設・設備の劣化による箇所等の修繕を行っているか。 評価：A 【100%】 A

4 環境美化活動の推進
校舎内外の整理整頓や清掃の徹底等、環境美化活動が推進されているか。 評価：A 【100%】 A

XI 広報

1 ホームページ・学生掲示板等の設定
ホームページ・学生掲示板等は、適時に更新し、見やすくしているか。 評価：B 【80%】 A

2 広報活動
費用対効果に見合った適切な広報活動が行われ、学校の情報が十分発信されているか。 評価：B 【80%】 A

XII 地域連携 (昨年度は、評価項目ではなかった)

1 学校施設の解放
地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元へ解放しているか。 学年末評価 【割合】
評価：A 【100%】

2 防災等の地域との協力関係の確立
防災・施設実習・学校行事等において、地域との協力関係が確立されているか。 評価：A 【100%】

3 ボランティア活動や地域活動の奨励・支援

学生のボランティア活動や地域活動を奨励、支援しているか。

学年末評価 【割合】

評価：A 【90%】

XIII 学生募集

学年末評価 【割合】 昨年評価

1 学生の確保

学校ブランド力の強化等により、知名度を高め、優秀な学生を確保しようとしているか。

評価：A 【90%】 A

2 情報活動

ホームページや広告、進学情報誌などにより、学校の知名度を高めているか。

評価：A 【100%】 A

3 宣伝活動

高等学校訪問および学校説明会などにより、教育効果を正確に伝え、高等学校へのPRをしているか。

評価：A 【100%】 A

4 オープンキャンパス等の随時開催

オープンキャンパス、体験入学、進学説明会等を随時開催し、学生募集に努めているか。

評価：A 【100%】 A

5 志願者増対策（学費サポート制度）

入学志願者増対策の一環として、学費のサポート制度が設けられているか。

評価：A 【100%】 A

6 中・長期展望に立った学生確保対策

児童・生徒減に伴う、中・長期展望に立った学生確保対策がなされているか。

評価：A 【90%】 A

XIV 国際交流

（昨年度は、評価項目ではなかった）

学年末評価 【割合】

1 戦略

受け入れ・派遣について、戦略を持って国際交流を行っているか。

評価：A 【100%】

2 手続き

受け入れ・派遣等において、適切な手続きがとられているか。

評価：A 【100%】

3 評価

受け入れ・派遣成果が、十分に評価される内容となっているか。

評価：A 【100%】

XIV コロナ禍（今年度も継続）

（昨年度との比較対象集計項目からは除く）

学年末評価 【割合】 昨年評価

1 感染予防全体

感染予防対策を徹底して、学校運営を工夫して行っているか。

評価：A 【100%】 A

2 学生に対する感染予防

学生に感染予防対策を周知し、その予防対策が確実に実践されているか。

評価：A 【100%】 A

3 授業

感染予防対策をした授業における学生の学力向上のための工夫はされているか。

評価：A 【100%】 A

学年末評価 【割合】 昨年評価

4 行事			
学校行事等において、感染状況を把握して企画・運営を行っているか。	評価：A	【100%】	A
5 感染者の対応			
感染者が出た際の対応をきちんと行っているか。	評価：A	【100%】	A
6 国際交流			
コロナ禍での国際交流は、工夫され、十分評価できる内容となっているか。	評価：A	【100%】	A
7 地域貢献			
コロナ禍での地域社会への貢献は工夫されているか。	評価：A	【90%】	A

【次年度に向けての要望・意見】

○令和6年度も、新興感染症に留意しながら、学生に授業ならびに臨床実習の在り方を理解していただき、心身ともに健康な学生生活に邁進していただければと思います。

また、教務の先生方におかれましても、健康に留意され、円滑な学校運営・学校経営ができればと願っております。

○今年は、本校からアイオワ州のDMACCに渡航するので、いろんな意味で大変重要な案件だと思えます。先生方で協力して進めていければと思います。

また、奨学金制度が一新され、多方面からの支援ができ、学生にとって有効な制度の確立が出来れば幸甚です。